福生新聞

発行所
福生町志茂映画館前
福生新聞社
電話福生422・574
発行人　川上作司

今次都知事の選挙戦特色

今次熱行される都知事選の特色は候補者自身の人物そのものゝ戦いでなく、都政を自民党の都政として維持し続けられるか、都政が社会党の都政となるか、其の熟れかが都民の投票によって決定されるというところに重大な意義があるのである。

従ってこの決戦こそは、衆議院議員の選挙よりも重大な意義が抱蔵されているのである。

衆議院議員の選挙戦は員数の獲得の戦いであるから東京で負けても全国的に勝てば宜ろしいが、都知事戦は一対一の戦いでこの一戦で負ければ補いの出来ない一戦だ……ということだ。この一戦で社会党が勝てば、当然社会党が主張する主義剛領による都政へと変革されるであろう。そうした変革は社会主義革命の一大前進である。従って其の及す影響は東京都が、日本の首都であるという点で国内政治の面からみても、国際関係の上からみても其の帰趨如何は実に重大な意義があるというのである。

されればこそ、この都知事戦に対し自民党も社会党も党の全力がこの一戦に叩き込まれることも又当然である。

ところがこの一戦に重大なカギを握っているのが我々の郷土三多摩が持っているのである。

社会党は従来この一戦で都内二十三区では勝つが、三多摩で負けをとっているし、三多摩の自民党支部が総力をあげてこの一戦に勝ち抜こうと火の玉となっていることも故無きにあらずであろう。

青梅市長　榎戸米吉氏　再び出馬を声明

榎戸青梅市長は去る廿五日来るべき市長選挙に再び出馬する旨を声明……。

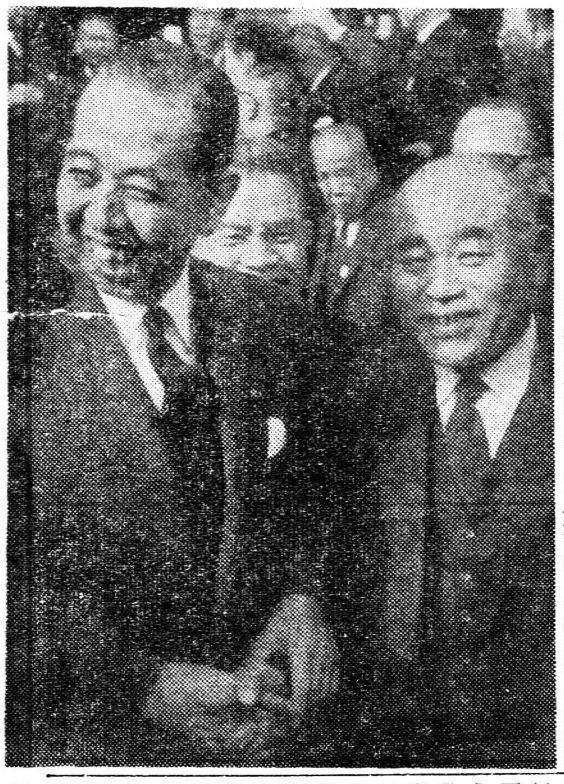
私の市長選挙に臨む施政方針としては今までの四ヶ年間の方針を踏襲して行き第一は市政は人の和でやっていく、第二は財政の確立に努める、第三は新市建設計画の遂行等の三つの点をあげ……第一の人の和ということは四年前市長就任当時より一貫した考えできているが今後も明るい市政確立のためこの考えで市政を担当して行く。

第二の財政再建は地財法の適要は三十五年九月で返済が終ることになっているが立川の土地処理の結果によってこの土地の処理収入を地財法の返済に充当して三四年度中に解決、一日も早く財政再建をおし進めこれが終ればこれらの資金を建設面にふり向けて行きたい

第三に新市建設計画の促進であるが、現在の計画は四年前に計画されたもので現在とは情勢も違ってきておりここで一応再検討の要があり、これを促進して行く。

青梅線復線化、東京直通も明るい見通しにあり加えて武州鉄道の東青梅駅乗入れの計画もあり青梅市発展の基礎である区画整理、土地改良等を促進して行く。

躍進青梅市のため財政とにらみあわせて市政の再検討の時期でありなお一層の努力をかたむけて青梅市政発展のため微力ながら御奉公したい……と語った。



一期譲ったか　岩浪　清氏

榎戸米吉氏は町会議員、市会議員その間市会議長となり、三十四年四月市長選に立候補、対立候補者無く無投票で市長に当選、任期中は暁の市会、越年市会等幾多波乱の市会を良く乗りきって赤字財政の青梅市をどうやら軌道に乗せ青梅市総合病院の建設、し尿処理場の着工等徐々ではあるが手堅く青梅市の建設に当って任期となった榎戸市長の対立候補として立候補を決意した岩浪清氏は、二日にして決意をひるがえし、今出馬することは青梅市の平和を乱すものだ……としてあっけなく引いてしまっいという。

岩浪清氏の決意断念に対しては種々とりざたされているが最も考えられる噂としては……今、榎戸氏と争って、市長戦を闘うより、今回は一期譲って榎戸氏に花を持たせ次期の市長を待つべし……との仲裁者の意見に従ったのだ……という噂。

昭島市　細井太七氏　自民党公認決り盤石の布陣

当初都議戦出馬を断念して、立ちあがりに遅れを取ったことや、分村運動の不手際に対する地元民の反感等で、思うような延びがなかった細井太七氏。ハッタリと御上手の出来ない温厚な人柄と、永年に亘る村長や市助役等の自治行政面に対する実力者である……という点で高く評価され、これぞ大多数の市民が期待する性格的にも、実力の上からも間違いのない人物だ……ということで当初いだかれていた悪感情も漸く消え、地元拝島は勿論、昭和地区まで細井株は上昇した……と言われ、自民党の公認決定なるに及び其の布陣も左の如き陣容で自民党支部を挙げての総力が細井支持にブチ込まれ盤石の態勢となって選挙戦に突入しようとしている。

事務長　並木九万

副　〃　出納責任者　関口　茂　小山　清

副　〃　大貫福次郎

第一地区責任者
岩崎喜六、新藤元義

第二地区責任者
中川久也、石川登作

第三地区責任者
奥住竹蔵、青山政一、斎藤長次

第四地区責任者
鈴木義孝、秋山茂雄

第五地区責任者
村田照吉、中村吉治

第六地区責任者
和田浩、秋山信雄、細井敏夫、指田島吉

第七地区責任者
森田弥八、内出春太郎、作本修作

第八地区責任者
豊泉重一、柴田義雄、茂木繁

過日行われた第六回党大会で岸首相と談笑する細井太七氏

西郡自治会館　敷地牛浜に決定

西郡八ヶ町村の自治会館の敷地は特別委員会で各所を物色中であったが、牛浜駅前忠霊塔西側約三千三百平方㍍と決定近く土地買収を行うことになった

岩田佐一氏　担き出し難行

榎戸市長に対する有力候補として岩浪清氏担き出しに失敗した有志は今度は現市議岩田佐一氏の出馬を夜を徹して説得した結果岩田氏も遂に断り切れず出馬することを承諾したところ、家族の反対にあい二の足を踏んで起ち上りに難行をしめしている。

奥多摩町営　温泉ボーリング進む

昨年より氷川の多摩川畔にボーリング中である町営温泉の発掘作業は現在で八十五㍍まで掘り下げ、温度はまだ十六度で低いがアルカリ分を多量に含んでいるようすに力づき百㍍まで掘ったところで水質検査をやり、更に予定の百五十㍍まで掘り下げることになるので、それに併行して町営の温泉場建設の計画を進めるという。

昭島の　汚物処理場完成

立川、昭島衛生処理組合が八千八百六十万円をかけた汚物処理場が昭島市郷地町七五四先の多摩川べりに完成した。二十二日朝十時から落成式をあげ、来月中旬から人口十万人分の処理能力を持つ同処理場が動きだす。正式の名称は〝富士見処理場〟と決定した。

これでこえダルのトラックやくみ取り自動車が近在の農村の畑や山林に汚物をぶちまけて苦情の多かった悩みも解消することになる。

好調の田村幾太郎氏

地元西多摩から選出され、議員としては一期生ではあるが、この四ヶ年間、都議会では実に確固たる地位を築いた。すなわち当選第一年の三十年五月から三十一年五月までは建設労働委員として活躍、とくに三多摩地区発展の基礎となる道路ならびに橋梁の建設には他議員のおどろくほどの熱意をみせた。

第二年の三十一年六月から三十二年の四月までは建設水道委員会の副委員長として水道局主管の委員長をつとめ都民待望の小河内ダム完成に挺身し、翌年も交通水道委員会の副委員長となってついで水道局を主管し、三十二年十一月には遂に小河内ダムの完成、その完工式には水道委員長として晴れの式典に列席した。

そうした活躍のうちに氏の飾り気の無い誠実な発言と、人をひきつける堂々たる風貌は先輩議員中に頭角を顕し、其の政治的手腕を買われて都議会自民党の副幹事長に推され党務活動に従横の活躍をなし円滑な都政の運営に大きく貢献している。

即ち春日井幹事長を良く助けて正副議長の選任をスムースに行ったり、もみぬいた都知事候補を全員一致で東竜太郎氏に決定した其の手際等は誠にすばらしいもの……と議員の間でも、役人の間でも、田村株を大いにあげた一事であろう。

今地元では改選期を控え福生町は勿論、郡下各町村にはそれぞれ後援会が組織され、事業上のトラブル等も起らず好調なすべり出しを続け盤若の態勢がくまれつゝ選挙戦に入いろうとしている。

五日市町長選に　議長　谷合昇氏決定

五日市町自民党支部では来るべき町長選挙に出馬を希望していた現議長谷合昇氏が小宮、戸倉地区から推され、前回惜敗した前町長星野良一氏が五日市地区からそれぞれ推薦されていたが同じ保守系から二名の出馬は無理があるというので星野氏は辞退したが五日市地区は依然として星野氏を推していたので、自民党支部では役員会を開き一応両氏を引込め白紙に戻し五日に出直すことになった。併して五日の自民党支部役員会各地区の意向を持ち寄った結果、支部長鷹取寛一郎氏に出馬させることによって、一本に絞ったところ、鷹取支部長は町長戦に出馬することはどこまでも固辞したので、その人選を鷹取支部長に一任した結果、支部長は現議長の谷合昇氏を推薦、今次の町長選には保守党としては谷合昇氏を支部推薦で出馬させ選挙に臨むことに決定した。

谷合昇氏　は小宮森林組合の専務理事で現五日市町議会議長で四十五才、温厚な人柄で合併直後の町長候補としてはけだし適材であろう。【写真は谷合昇氏】

交付金割当決る

▽福生町　百十五万五千円▽羽村町　二百七十一万六千円▽瑞穂町　三百四万七千円▽秋多町　四百五十万七千円▽日の出村　百十一万三千円▽五日市町　四百九十五万三千円▽桧原村　二百九十三万三千円▽奥多摩町　百七十五万七千円。

御入学用品
が、揃ひました
たランドセル
手提カバン・
学生服草履袋
タケシマヤ
TEL 250

記念品に最適
鏡と額縁
おくりもの
三井の漆器
福生駅前　電話四四八番

万年塀　西川のスレート
御一報次第
社員参上
西川コンクリート株式会社
東京都昭島市中神町941（昭和）32・344

ミゼットは働きもので人気もの！
ダイハツ　ミゼット
街のヘリコプターダイハツミゼットは100万人の愛用車。
官庁・公社・会社・工場の小口運搬やサービス用に間屋・小売店などの運搬用や配達用に……
3倍の能率と3倍の安全性をお贈りします。
ダイハツミゼット　販売店
株式会社　交運社
現金価格　幌型　¥226.000
分割価格　〃　¥236.000
電話福生740・276・576　青梅　2769・3578

安全・確実・サービス満点
バス・ハイヤー・遊覧・行楽の季節！
45人乗り
50人乗り
55人乗り
団体の御旅行には五王観光バスを御利用下さい
五王自動車株式会社
本社　電話五日市504・青梅営業所2876・福生営業所356・氷川営業所155・小河内営業所40番

五三町歩の畑地灌漑
小林土建が着工

瑞穂

政府は横田基地拡張の補償の一環として一千九百万円を以って深井戸式幹線水路工事から畑地灌漑を行う事になり、既に四ヵ所の深井戸は昨年完成、幹線水路の敷設工事が去る二月より小林土建（秋多町代表小林泰男）の施工で着工した。この幹線工事が完了すれば地元の耕作者一九名によって土地改良区という団体が組織され、この団体によって区画整理が行われ、幹線水路を敷設することより、次の水路によって五三町歩の畑地に適時三〇ミリの水が放出され、これによって蔬菜類その他の畑作の収穫は倍加されることになるという。

尚地元耕作者によって土地改良区の集団を一町歩とするような計画が設立されて計画されることは、

道路計画　三輪車、リヤカー等の車両の通行に便利なように先づ日光街道から西に通じる南北の道路を南北四〇メートルの間隔を置いて、これと直角に約二〇間の間隔をおいて主道を四〇メートルその他は三〇メートの道路を通るなどの計画である。

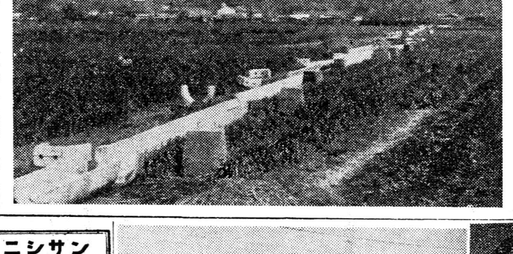
区画計画　農耕作業に、機械や、牛馬を使用することや、土地の配置水路を実施に合わせ各戸五間の矩形の一区区画を間隔の道路に配置し、道路で囲まれた農地の集団を一町歩とするような計画される。

換地計画　原則として工事施行前の用有地を基準にして決定する。

区画整理の効果　交通運搬が便となり労力節減が出来る不利用地が少なくなる。等力機械力の利用が便となる。

支線用水路計画　支線計画は、幹線用水路から、直角の方向に道路と道路の間を流し道路との交叉は、暗渠にして通す計画であります。水路構造は、水の利用面と用地の節約工事費の低廉等考えて U字フリュームを使用する。

【写真は瑞穂町の畑地灌漑用幹線水路の敷設工事現場】



福生第四校開校

福生第一小学校分校は福生町立第四小学校として開校、来る四月十日午前九時より同校で開校式が挙行される。

同校は加美、永田、長沢部落を通学区域として児童数四四〇名。同校敷地は二〇四五坪、校舎二階建木造五六坪、普通教室十二教室、特別教室は音楽、図書、理科準備室、医務室その他一〇室あり最近建築されたばかりの建物で総て が新しい様式が取入れられているので、児童達にとっては恵まれたよい学校となるであろう。

校長　細谷勇三郎

校員　藤谷重三郎、丸木忠一、小林時、高崎伊平、加藤哲郎、小林まさえ、伊佐治剛、岡部国保、内田信子、細田むつ、金子キヨ子、三津房子、小熊喜美子、江本隆一、田島昌、安藤芳子。

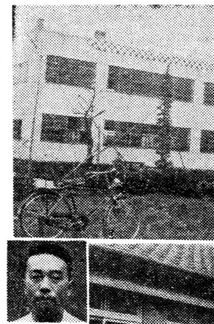
細谷校長　は青山師範一部卒業、昭和四十二年まで福生第一分校に出向し同分校、小宮小、小宮中等の校務主任を経て二年三年小宮、中学校長、二年七年平井小学校校長となり、今回福生第四小学校校立と共に同校長として栄転

秋多町庁舎落成

西部秋多町では同町「宮子」塚湯に鉄筋コンクリート二階建新役場庁舎を建築中のところ、このほど完成、二十五日落成式が行われた。新役場の建物面積は六百九十三平方メートル（二百十坪）総工費一千百九十五万余円。また役場隣に建築中だった青年第八研修所も完成した。

研修所は新農村建興五年計画の一環として第八会青年団が会合や研修会を開く教室となるわけだが、第一次として八月に完成する。

【写真は秋多町庁舎】

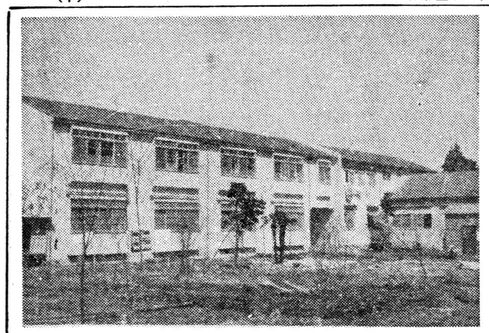


三多摩一を誇る
福生青果　売場増築

福生青果株式会社では昭和二十八年に青果物の青果物流通を新発足、人口の増加に伴い青果物の需要が増大、隣接町村の経済人口を将来八万人に見込んで更に七十坪の売場増築をした。百七十坪の売場で第一を誇っている。

社長田中敬一氏の所謂事業「生きる精神が、この市場経営方針に良く現われ経営の合理化によって出荷人も小売人も、買に消費者の立多摩で福生青果だけ――という素晴らしさである。こうした意味合いで市場は隣接町村はもとより近県の青果物が自然に入荷し、毎日十五万～二十万貫の青果物が消化され、買出人は常時七千人が出入し信用動しているる金融は福生市が第一主位にあるという。

瑞穂肺専門　西多摩病院
新館完成　福生建設　施工



一、施主　医療法人博生会　理事長　尾崎治雄
一、施主者　福生建設有限会社
一、工期　昭和卅三年十一月一日　昭和卅四年二月卅一日
一、構造　木造モルタール塗　瓦葺
一、収容ベット数　四十八床
一、施設内容　合病室には個人用ロッカー、ラジオ受信装置及び非常ベル等多具備し、娯楽室、患者用浴室、配膳室（二）、看護婦事務室（二）、動力用リフト、ボイラー室等が設置される各手所には温湯給水施設が完備している。

尚これと同時に自家用変電所及職員住宅二棟が新築され武蔵野の面影を残す雑木林の中に大偉容を誇っている。

鉱元院長当病院長平田重治博士は次の如く語っている。

平田院長談

当病院も開院後僅か二ヶ年足らず で新館増築工事を行い、これが完成し患者を収容出来る様になりますと事は偏に地元の皆様の御後援の賜と深く感謝致して居ります。

一般診療も行って居りますが、主体は結核患者の収容治療を行う特殊病院であります。「結核征」という病気は特殊な職業病であって御存じの方は多くなく思いますの大変な治療致しますと「結核征」とは一言いって古来より金属鉱山や炭鉱等に「ろうば」と呼ばれ、不治の病とされて恐れられて来た病気の事です。事実現在の治療法が見出されていない為に、結核の根源である肺に生じた繊維増殖性変化に対して回復とのための治療方法はないという状態の為、去る昭和三十年七月第二十二回国会において「結核等別保護法」が制定されてこの病気が重症（第四種症）になると強制入院させられる事になりますが、現今の我が国では種々な事情によりこれが実門病院は栃木県に労働省の直轄の専門病院が一ヵ所あるのみなので当院は、経費上、治療上、その他各々の因難を押切って、結核専門病院としてこれ等不幸な人々の為に幾分の力にもなって差上げる事が出来たと考えている次第であります。

尚先輩鉱山、炭鉱に多いと申しましたが、結核は要するに塵埃粉塵を吸散する作業場では何処でも発生するので東京にもこの病

瀬戸岡医院
秋多町二宮に開院

前福生病院科医長医学博士瀬戸岡進氏はかねてより秋多町二宮神社前入り通りに、医院を新築中であったが、漸く完成四月一日より開院することになった。

氏は慶応義塾大学医学部を卒業、なお同院の診療科目は内科、レントゲン科、小児科専門医院も福生局九二〇番が開通した。

【写真は院長　瀬戸岡　博士と同医院】

ぐんぐんお金がふえる
最も有利で便利な
武陽リレー定期預金
創業10周年　武陽信用金庫

ニシサン
押麦
西多摩農協

良い品を安く売る
百貨の店
福生町　コヤマ

編機と
3ヶ月
6ヶ月
10ヶ月
月掛500円予約
※ビビー・ウドダ各種ナーザー・シルバーレー・ミシンK・K編機・コロ・ハ・ハ各ミシケラネネ機械・ハ・ハ種毛トベンホン・ハ・ハ
並木商事
青梅市西分101
電話 3927・2604

福生電電電話局では左記の通り新設電話を開通した。
三〇四乙　松谷　真三
四二二乙　笛　楽志　茂
六四六乙　山崎　武夫志　茂
七八八乙　熊谷　彦　青　果
八四九　曽田　農場　羽村川崎
八五七　浦野　農　草　花
八五八　小林土建KK　草　花
八五九　世界友の会　ゴルフ場
八六一　広瀬　吉作　そばや
八六三　中村　国次　建築設計
八六四　片倉自転車KK　熊川
八六五　ホリエ看板店　本　町
八六五乙　下田　伊輔　本　町
八六六　飯塚医太郎　木　工
八六六乙　川上　清　本　町
八六七　青川　義雄　鳥　食　店
八六七乙　高橋　敬之助　食　堂
八六八　塩野鉄之助　食　堂
八六八乙　銀柳　堂　本　町
八六九　中島方太郎　牛　浜
八七〇乙　高浜　忠　牛　浜
八七一　鎌倉鉛江　自転車販売
八七二乙　竹内　治郎　バ　ー
八七三　南　寿　バ　ー
八七四　吉岡　和男　バ　ー
八七五　鈴木　愛子　バ　ー
八七六　中根　正男　バ　ー
八七七乙　井上きの江　バ　ー
八七七甲　中里　元一　自転車商
八七八　遠藤　丸蔵　飲　食
九〇二　西川　在証　古　物
九〇三　鎌本　末吉　万　福　物
九〇四　山崎健三郎　佐　官
九〇五　青梅駅　竹吉　委　公
九〇六甲　武蔵野医院　志　茂
九〇六乙　茅野トクエ　飲　食
九〇七　市川　豪　下　宿
九〇八甲　長谷川イチ　志　茂
九〇八乙　清水屋菓子店　志　茂
九〇九甲　佐藤　健　本　二
九〇九乙　佐藤イト　あさひ食堂
九〇一〇甲　小山　信雄　肉　商
九〇一〇乙　松本　亀蔵　荒　物
九〇一一　安永　公一　飲　食　物
九〇一二　桜沢　蔵吉　取締役
九〇一三　森田孝三郎
九〇一四　〃　井梅　勝雄
九〇一五　〃　監　斎藤　兼蔵
九〇一六　〃　井上　義夫
九〇一七　〃　
九〇一八　〃　
九〇一九　〃　
九〇二〇　〃　
九〇二一　〃　
九〇二二　〃　
九〇二三　〃　
九〇二四　〃　
九〇二五　〃　
九〇二六　〃　
九〇二七　〃　
九〇二八　〃　
九〇二九　〃　
九〇三〇　〃　
九〇三一　〃　
九〇三二　〃　
九〇三三　〃　
九〇三四　〃　
九〇三五　〃　
九〇三六　〃　
九〇三七　〃　
九〇三八　〃　
九〇三九　〃　
九〇四〇　〃　
九〇四一　〃　
九〇四二　〃　
九〇四三　〃　
九〇四四　〃　
九〇四五　〃　
九〇四六　〃　
九〇四七　〃　
九〇四八　〃　
九〇四九　〃　
九〇五〇　〃　
九〇五一　〃　
九〇五二　〃　
九〇五三　〃　
九〇五四　〃　
九〇五五　〃　
九〇五六　〃　
九〇五七　〃　
九〇五八　〃　
九〇五九　〃　
九〇六〇　〃　
九〇六一　〃　
九〇六二　〃　
九〇六三　〃　
九〇六四　〃　
九〇六五　〃　
九〇六六　〃　
九〇六七　〃　
九〇六八　〃　
九〇六九　〃　
九〇七〇　〃　
九〇七一　〃　
九〇七二　〃　
九〇七三　〃　
九〇七四　〃　
九〇七五　〃　
九〇七六　〃　
九〇七七　〃　
九〇七八　〃　
九〇七九　〃　
九〇八〇　〃　
九〇八一　〃　
九〇八二　〃　
九〇八三　〃　
九〇八四　〃　
九〇八五　〃　
九〇八六　〃　
九〇八七　〃　
九〇八八　〃　
九〇八九　〃　
九〇九〇　〃　
九〇九一　〃　
九〇九二　〃　
九〇九三　〃　
九〇九四　〃　
九〇九五　〃　
九〇九六　〃　
九〇九七　〃　
九〇九八　〃　
九〇九九　〃　
九〇一〇〇　〃　
九〇一〇一　〃　
九〇一〇二　〃　
九〇一〇三　〃　
九〇一〇四　〃　
九〇一〇五　〃　
九〇一〇六　〃　
九〇一〇七　〃　
九〇一〇八　〃　
九〇一〇九　〃　
九〇一一〇　〃　
九〇一一一　〃　
九〇一一二　〃　
九〇一一三　〃　
九〇一一四　〃　
九〇一一五　〃　
九〇一一六　〃　
九〇一一七　〃　
九〇一一八　〃　
九〇一一九　〃　
九〇一二〇　〃　
九〇一二一　〃　
九〇一二二　〃　
九〇一二三　〃　
九〇一二四　〃　
九〇一二五　〃　
九〇一二六　〃　
九〇一二七　〃　
九〇一二八　〃　
九〇一二九　〃　
九〇一三〇　〃　
九〇一三一　〃　
九〇一三二　〃　
九〇一三三　〃　
九〇一三四　〃　
九〇一三五　〃　
九〇一三六　〃　
九〇一三七　〃　
九〇一三八　〃　
九〇一三九　〃　
九〇一四〇　〃　
九〇一四一　〃　
九〇一四二　〃　
九〇一四三　〃　
九〇一四四　〃　
九〇一四五　〃　
九〇一四六　〃　
九〇一四七　〃　
九〇一四八　〃　
九〇一四九　〃　
九〇一五〇　〃　
九〇一五一　〃　
九〇一五二　〃　
九〇一五三　〃　
九〇一五四　〃　
九〇一五五　〃　
九〇一五六　〃　
九〇一五七　〃　
九〇一五八　〃　
九〇一五九　〃　
九〇一六〇　〃　
九〇一六一　〃　
九〇一六二　〃　
九〇一六三　〃　
九〇一六四　〃　
九〇一六五　〃　
九〇一六六　〃　
九〇一六七　〃　
九〇一六八　〃　
九〇一六九　〃　
九〇一七〇　〃　
九〇一七一　〃　
九〇一七二　〃　
九〇一七三　〃　
九〇一七四　〃　
九〇一七五　〃　
九〇一七六　〃　
九〇一七七　〃　
九〇一七八　〃　
九〇一七九　〃　
九〇一八〇　〃　
九〇一八一　〃　
九〇一八二　〃　
九〇一八三　〃　
九〇一八四　〃　
九〇一八五　〃　
九〇一八六　〃　
九〇一八七　〃　
九〇一八八　〃　
九〇一八九　〃　
九〇一九〇　〃　
九〇一九一　〃　
九〇一九二　〃　
九〇一九三　〃　
九〇一九四　〃　
九〇一九五　〃　
九〇一九六　〃　
九〇一九七　〃　
九〇一九八　〃　
九〇一九九　〃　
九〇二〇〇　〃　
九〇二〇一　〃　
九〇二〇二　〃　
九〇二〇三　〃　
九〇二〇四　〃　
九〇二〇五　〃　
九〇二〇六　〃　
九〇二〇七　〃　
九〇二〇八　〃　
九〇二〇九　〃　
九〇二一〇　〃　
九〇二一一　〃　
九〇二一二　〃　
九〇二一三　〃　
九〇二一四　〃　
九〇二一五　〃　
九〇二一六　〃　
九〇二一七　〃　
九〇二一八　〃　
九〇二一九　〃　
九〇二二〇　〃　
九〇二二一　〃　
九〇二二二　〃　
九〇二二三　〃　
九〇二二四　〃　
九〇二二五　〃　
九〇二二六　〃　
九〇二二七　〃　
九〇二二八　〃　
九〇二二九　〃　
九〇二三〇　〃　
九〇二三一　〃　
九〇二三二　〃　
九〇二三三　〃　
九〇二三四　〃　
九〇二三五　〃　
九〇二三六　〃　
九〇二三七　〃　
九〇二三八　〃　
九〇二三九　〃　
九〇二四〇　〃　
九〇二四一　〃　
九〇二四二　〃　
九〇二四三　〃　
九〇二四四　〃　
九〇二四五　〃　
九〇二四六　〃　
九〇二四七　〃　
九〇二四八　〃　
九〇二四九　〃　
九〇二五〇　〃　
九〇二五一　〃　
九〇二五二　〃　
九〇二五三　〃　
九〇二五四　〃　
九〇二五五　〃　
九〇二五六　〃　
九〇二五七　〃　
九〇二五八　〃　
九〇二五九　〃　
九〇二六〇　〃　
九〇二六一　〃　
九〇二六二　〃　
九〇二六三　〃　
九〇二六四　〃　
九〇二六五　〃　
九〇二六六　〃　
九〇二六七　〃　
九〇二六八　〃　
九〇二六九　〃　
九〇二七〇　〃　
九〇二七一　〃　
九〇二七二　〃　
九〇二七三　〃　
九〇二七四　〃　
九〇二七五　〃　
九〇二七六　〃　
九〇二七七　〃　
九〇二七八　〃　
九〇二七九　〃　
九〇二八〇　〃　
九〇二八一　〃　
九〇二八二　〃　
九〇二八三　〃　
九〇二八四　〃　
九〇二八五　〃　
九〇二八六　〃　
九〇二八七　〃　
九〇二八八　〃　
九〇二八九　〃　
九〇二九〇　〃　
九〇二九一　〃　
九〇二九二　〃　
九〇二九三　〃　
九〇二九四　〃　
九〇二九五　〃　
九〇二九六　〃　
九〇二九七　〃　
九〇二九八　〃　
九〇二九九　〃　
九〇三〇〇　〃　
九〇三〇一　〃　
九〇三〇二　〃　
九〇三〇三　〃　
九〇三〇四　〃　
九〇三〇五　〃　
九〇三〇六　〃　
九〇三〇七　〃　
九〇三〇八　〃　
九〇三〇九　〃　
九〇三一〇　〃　
九〇三一一　〃　
九〇三一二　〃　
九〇三一三　〃　
九〇三一四　〃　
九〇三一五　〃　
九〇三一六　〃　
九〇三一七　〃　
九〇三一八　〃　
九〇三一九　〃　
九〇三二〇　〃　
九〇三二一　〃　
九〇三二二　〃　
九〇三二三　〃　
九〇三二四　〃　
九〇三二五　〃　
九〇三二六　〃　
九〇三二七　〃　
九〇三二八　〃　
九〇三二九　〃　
九〇三三〇　〃　
九〇三三一　〃　
九〇三三二　〃　
九〇三三三　〃　
九〇三三四　〃　
九〇三三五　〃　
九〇三三六　〃　
九〇三三七　〃　
九〇三三八　〃　
九〇三三九　〃　
九〇三四〇　〃　
九〇三四一　〃　
九〇三四二　〃　
九〇三四三　〃　
九〇三四四　〃　
九〇三四五　〃　
九〇三四六　〃　
九〇三四七　〃　
九〇三四八　〃　
九〇三四九　〃　
九〇三五〇　〃　
九〇三五一　〃　
九〇三五二　〃　
九〇三五三　〃　
九〇三五四　〃　
九〇三五五　〃　
九〇三五六　〃　
九〇三五七　〃　
九〇三五八　〃　
九〇三五九　〃　
九〇三六〇　〃　
九〇三六一　〃　
九〇三六二　〃　
九〇三六三　〃　
九〇三六四　〃　
九〇三六五　〃　
九〇三六六　〃　
九〇三六七　〃　
九〇三六八　〃　
九〇三六九　〃　
九〇三七〇　〃　
九〇三七一　〃　
九〇三七二　〃　
九〇三七三　〃　
九〇三七四　〃　
九〇三七五　〃　
九〇三七六　〃　
九〇三七七　〃　
九〇三七八　〃　
九〇三七九　〃　
九〇三八〇　〃　
九〇三八一　〃　
九〇三八二　〃　
九〇三八三　〃　
九〇三八四　〃　
九〇三八五　〃　
九〇三八六　〃　
九〇三八七　〃　
九〇三八八　〃　
九〇三八九　〃　
九〇三九〇　〃　
九〇三九一　〃　
九〇三九二　〃　
九〇三九三　〃　
九〇三九四　〃　
九〇三九五　〃　
九〇三九六　〃　
九〇三九七　〃　
九〇三九八　〃　
九〇三九九　〃　
九〇四〇〇　〃　
九〇四〇一　〃　
九〇四〇二　〃　
九〇四〇三　〃　
九〇四〇四　〃　
九〇四〇五　〃　
九〇四〇六　〃　
九〇四〇七　〃　
九〇四〇八　〃　
九〇四〇九　〃　
九〇四一〇　〃　
九〇四一一　〃　
九〇四一二　〃　
九〇四一三　〃　
九〇四一四　〃　
九〇四一五　〃　
九〇四一六　〃　
九〇四一七　〃　
九〇四一八　〃　
九〇四一九　〃　
九〇四二〇　〃　
九〇四二一　〃　
九〇四二二　〃　
九〇四二三　〃　
九〇四二四　〃　
九〇四二五　〃　
九〇四二六　〃　
九〇四二七　〃　
九〇四二八　〃　
九〇四二九　〃　
九〇四三〇　〃　
九〇四三一　〃　
九〇四三二　〃　
九〇四三三　〃　
九〇四三四　〃　
九〇四三五　〃　
九〇四三六　〃　
九〇四三七　〃　
九〇四三八　〃　
九〇四三九　〃　
九〇四四〇　〃　
九〇四四一　〃　
九〇四四二　〃　
九〇四四三　〃　
九〇四四四　〃　
九〇四四五　〃　
九〇四四六　〃　
九〇四四七　〃　
九〇四四八　〃　
九〇四四九　〃　
九〇四五〇　〃　
九〇四五一　〃　
九〇四五二　〃　
九〇四五三　〃　
九〇四五四　〃　
九〇四五五　〃　
九〇四五六　〃　
九〇四五七　〃　
九〇四五八　〃　
九〇四五九　〃　
九〇四六〇　〃　
九〇四六一　〃　
九〇四六二　〃　
九〇四六三　〃　
九〇四六四　〃　
九〇四六五　〃　
九〇四六六　〃　
九〇四六七　〃　
九〇四六八　〃　
九〇四六九　〃　
九〇四七〇　〃　
九〇四七一　〃　
九〇四七二　〃　
九〇四七三　〃　
九〇四七四　〃　
九〇四七五　〃　
九〇四七六　〃　
九〇四七七　〃　
九〇四七八　〃　
九〇四七九　〃　
九〇四八〇　〃　
九〇四八一　〃　
九〇四八二　〃　
九〇四八三　〃　
九〇四八四　〃　
九〇四八五　〃　
九〇四八六　〃　
九〇四八七　〃　
九〇四八八　〃　
九〇四八九　〃　
九〇四九〇　〃　
九〇四九一　〃　
九〇四九二　〃　
九〇四九三　〃　
九〇四九四　〃　
九〇四九五　〃　
九〇四九六　〃　
九〇四九七　〃　
九〇四九八　〃　
九〇四九九　〃　
九〇五〇〇　〃　
九〇五〇一　〃　
九〇五〇二　〃　
九〇五〇三　〃　
九〇五〇四　〃　
九〇五〇五　〃　
九〇五〇六　〃　
九〇五〇七　〃　
九〇五〇八　〃　
九〇五〇九　〃　
九〇五一〇　〃　
九〇五一一　〃　
九〇五一二　〃　
九〇五一三　〃　
九〇五一四　〃　
九〇五一五　〃　
九〇五一六　〃　
九〇五一七　〃　
九〇五一八　〃　
九〇五一九　〃　
九〇五二〇　〃　
九〇五二一　〃　
九〇五二二　〃　
九〇五二三　〃　
九〇五二四　〃　
九〇五二五　〃　
九〇五二六　〃　
九〇五二七　〃　
九〇五二八　〃　
九〇五二九　〃　
九〇五三〇　〃　
九〇五三一　〃　
九〇五三二　〃　
九〇五三三　〃　
九〇五三四　〃　
九〇五三五　〃　
九〇五三六　〃　
九〇五三七　〃　
九〇五三八　〃　
九〇五三九　〃　
九〇五四〇　〃　
九〇五四一　〃　
九〇五四二　〃　
九〇五四三　〃　
九〇五四四　〃　
九〇五四五　〃　
九〇五四六　〃　
九〇五四七　〃　
九〇五四八　〃　
九〇五四九　〃　
九〇五五〇　〃　
九〇五五一　〃　
九〇五五二　〃　
九〇五五三　〃　
九〇五五四　〃　
九〇五五五　〃　
九〇五五六　〃　
九〇五五七　〃　
九〇五五八　〃　
九〇五五九　〃　
九〇五六〇　〃　
九〇五六一　〃　
九〇五六二　〃　
九〇五六三　〃　
九〇五六四　〃　
九〇五六五　〃　
九〇五六六　〃　
九〇五六七　〃　
九〇五六八　〃　
九〇五六九　〃　
九〇五七〇　〃　
九〇五七一　〃　
九〇五七二　〃　
九〇五七三　〃　
九〇五七四　〃　
九〇五七五　〃　
九〇五七六　〃　
九〇五七七　〃　
九〇五七八　〃　
九〇五七九　〃　
九〇五八〇　〃　
九〇五八一　〃　
九〇五八二　〃　
九〇五八三　〃　
九〇五八四　〃　
九〇五八五　〃　
九〇五八六　〃　
九〇五八七　〃　
九〇五八八　〃　
九〇五八九　〃　
九〇五九〇　〃　
九〇五九一　〃　
九〇五九二　〃　
九〇五九三　〃　
九〇五九四　〃　
九〇五九五　〃　
九〇五九六　〃　
九〇五九七　〃　
九〇五九八　〃　
九〇五九九　〃　
九〇六〇〇　〃　
九〇六〇一　〃　
九〇六〇二　〃　
九〇六〇三　〃　
九〇六〇四　〃　
九〇六〇五　〃　
九〇六〇六　〃　
九〇六〇七　〃　
九〇六〇八　〃　
九〇六〇九　〃　
九〇六一〇　〃　
九〇六一一　〃　
九〇六一二　〃　
九〇六一三　〃　
九〇六一四　〃　
九〇六一五　〃　
九〇六一六　〃　
九〇六一七　〃　
九〇六一八　〃　
九〇六一九　〃　
九〇六二〇　〃　
九〇六二一　〃　
九〇六二二　〃　
九〇六二三　〃　
九〇六二四　〃　
九〇六二五　〃　
九〇六二六　〃　
九〇六二七　〃　
九〇六二八　〃　
九〇六二九　〃　
九〇六三〇　〃　
九〇六三一　〃　
九〇六三二　〃　
九〇六三三　〃　
九〇六三四　〃　
九〇六三五　〃　
九〇六三六　〃　
九〇六三七　〃　
九〇六三八　〃　
九〇六三九　〃　
九〇六四〇　〃　
九〇六四一　〃　
九〇六四二　〃　
九〇六四三　〃　
九〇六四四　〃　
九〇六四五　〃　
九〇六四六　〃　
九〇六四七　〃　
九〇六四八　〃　
九〇六四九　〃　
九〇六五〇　〃　
九〇六五一　〃　
九〇六五二　〃　
九〇六五三　〃　
九〇六五四　〃　
九〇六五五　〃　
九〇六五六　〃　
九〇六五七　〃　
九〇六五八　〃　
九〇六五九　〃　
九〇六六〇　〃　
九〇六六一　〃　
九〇六六二　〃　
九〇六六三　〃　
九〇六六四　〃　
九〇六六五　〃　
九〇六六六　〃　
九〇六六七　〃　
九〇六六八　〃　
九〇六六九　〃　
九〇六七〇　〃　
九〇六七一　〃　
九〇六七二　〃　
九〇六七三　〃　
九〇六七四　〃　
九〇六七五　〃　
九〇六七六　〃　
九〇六七七　〃　
九〇六七八　〃　
九〇六七九　〃　
九〇六八〇　〃　
九〇六八一　〃　
九〇六八二　〃　
九〇六八三　〃　
九〇六八四　〃　
九〇六八五　〃　
九〇六八六　〃　
九〇六八七　〃　
九〇六八八　〃　
九〇六八九　〃　
九〇六九〇　〃　
九〇六九一　〃　
九〇六九二　〃　
九〇六九三　〃　
九〇六九四　〃　
九〇六九五　〃　
九〇六九六　〃　
九〇六九七　〃　
九〇六九八　〃　
九〇六九九　〃　
九〇七〇〇　〃　
九〇七〇一　〃　
九〇七〇二　〃　
九〇七〇三　〃　
九〇七〇四　〃　
九〇七〇五　〃　
九〇七〇六　〃　
九〇七〇七　〃　
九〇七〇八　〃　
九〇七〇九　〃　
九〇七一〇　〃　
九〇七一一　〃　
九〇七一二　〃　
九〇七一三　〃　
九〇七一四　〃　
九〇七一五　〃　
九〇七一六　〃　
九〇七一七　〃　
九〇七一八　〃　
九〇七一九　〃　
九〇七二〇　〃　
九〇七二一　〃　
九〇七二二　〃　
九〇七二三　〃　
九〇七二四　〃　
九〇七二五　〃　
九〇七二六　〃　
九〇七二七　〃　
九〇七二八　〃　
九〇七二九　〃　
九〇七三〇　〃　
九〇七三一　〃　
九〇七三二　〃　
九〇七三三　〃　
九〇七三四　〃　
九〇七三五　〃　
九〇七三六　〃　
九〇七三七　〃　
九〇七三八　〃　
九〇七三九　〃　
九〇七四〇　〃　
九〇七四一　〃　
九〇七四二　〃　
九〇七四三　〃　
九〇七四四　〃　
九〇七四五　〃　
九〇七四六　〃　
九〇七四七　〃　
九〇七四八　〃　
九〇七四九　〃　
九〇七五〇　〃　
九〇七五一　〃　
九〇七五二　〃　
九〇七五三　〃　
九〇七五四　〃　
九〇七五五　〃　
九〇七五六　〃　
九〇七五七　〃　
九〇七五八　〃　
九〇七五九　〃　
九〇七六〇　〃　
九〇七六一　〃　
九〇七六二　〃　
九〇七六三　〃　
九〇七六四　〃　
九〇七六五　〃　
九〇七六六　〃　
九〇七六七　〃　
九〇七六八　〃　
九〇七六九　〃　
九〇七七〇　〃　
九〇七七一　〃　
九〇七七二　〃　
九〇七七三　〃　
九〇七七四　〃　
九〇七七五　〃　
九〇七七六　〃　
九〇七七七　〃　
九〇七七八　〃　
九〇七七九　〃　
九〇七八〇　〃　
九〇七八一　〃　
九〇七八二　〃　
九〇七八三　〃　
九〇七八四　〃　
九〇七八五　〃　
九〇七八六　〃　
九〇七八七　〃　
九〇七八八　〃　
九〇七八九　〃　
九〇七九〇　〃　
九〇七九一　〃　
九〇七九二　〃　
九〇七九三　〃　
九〇七九四　〃　
九〇七九五　〃　
九〇七九六　〃　
九〇七九七　〃　
九〇七九八　〃　
九〇七九九　〃　
九〇八〇〇　〃　
九〇八〇一　〃　
九〇八〇二　〃　
九〇八〇三　〃　
九〇八〇四　〃　
九〇八〇五　〃　
九〇八〇六　〃　
九〇八〇七　〃　
九〇八〇八　〃　
九〇八〇九　〃　
九〇八一〇　〃　
九〇八一一　〃　
九〇八一二　〃　
九〇八一三　〃　
九〇八一四　〃　
九〇八一五　〃　
九〇八一六　〃　
九〇八一七　〃　
九〇八一八　〃　
九〇八一九　〃　
九〇八二〇　〃　
九〇八二一　〃　
九〇八二二　〃　
九〇八二三　〃　
九〇八二四　〃　
九〇八二五　〃　
九〇八二六　〃　
九〇八二七　〃　
九〇八二八　〃　
九〇八二九　〃　
九〇八三〇　〃　
九〇八三一　〃　
九〇八三二　〃　
九〇八三三　〃　
九〇八三四　〃　
九〇八三五　〃　
九〇八三六　〃　
九〇八三七　〃　
九〇八三八　〃　
九〇八三九　〃　
九〇八四〇　〃　
九〇八四一　〃　
九〇八四二　〃　
九〇八四三　〃　
九〇八四四　〃　
九〇八四五　〃　
九〇八四六　〃　
九〇八四七　〃　
九〇八四八　〃　
九〇八四九　〃　
九〇八五〇　〃　
九〇八五一　〃　
九〇八五二　〃　
九〇八五三　〃　
九〇八五四　〃　
九〇八五五　〃　
九〇八五六　〃　
九〇八五七　〃　
九〇八五八　〃　
九〇八五九　〃　
九〇八六〇　〃　
九〇八六一　〃　
九〇八六二　〃　
九〇八六三　〃　
九〇八六四　〃　
九〇八六五　〃　
九〇八六六　〃　
九〇八六七　〃　
九〇八六八　〃　
九〇八六九　〃　
九〇八七〇　〃　
九〇八七一　〃　
九〇八七二　〃　
九〇八七三　〃　
九〇八七四　〃　
九〇八七五　〃　
九〇八七六　〃　
九〇八七七　〃　
九〇八七八　〃　
九〇八七九　〃　
九〇八八〇　〃　
九〇八八一　〃　
九〇八八二　〃　
九〇八八三　〃　
九〇八八四　〃　
九〇八八五　〃　
九〇八八六　〃　
九〇八八七　〃　
九〇八八八　〃　
九〇八八九　〃　
九〇八九〇　〃　
九〇八九一　〃　
九〇八九二　〃　
九〇八九三　〃　
九〇八九四　〃　
九〇八九五　〃　
九〇八九六　〃　
九〇八九七　〃　
九〇八九八　〃　
九〇八九九　〃　
九〇九〇〇　〃　
九〇九〇一　〃　
九〇九〇二　〃　
九〇九〇三　〃　
九〇九〇四　〃　
九〇九〇五　〃　
九〇九〇六　〃　
九〇九〇七　〃　
九〇九〇八　〃　
九〇九〇九　〃　
九〇九一〇　〃　
九〇九一一　〃　
九〇九一二　〃　
九〇九一三　〃　
九〇九一四　〃　
九〇九一五　〃　
九〇九一六　〃　
九〇九一七　〃　
九〇九一八　〃　
九〇九一九　〃　
九〇九二〇　〃　
九〇九二一　〃　
九〇九二二　〃　
九〇九二三　〃　
九〇九二四　〃　
九〇九二五　〃　
九〇九二六　〃　
九〇九二七　〃　
九〇九二八　〃　
九〇九二九　〃　
九〇九三〇　〃　
九〇九三一　〃　
九〇九三二　〃　
九〇九三三　〃　
九〇九三四　〃　
九〇九三五　〃　
九〇九三六　〃　
九〇九三七　〃　
九〇九三八　〃　
九〇九三九　〃　
九〇九四〇　〃　
九〇九四一　〃　
九〇九四二　〃　
九〇九四三　〃　
九〇九四四　〃　
九〇九四五　〃　
九〇九四六　〃　
九〇九四七　〃　
九〇九四八　〃　
九〇九四九　〃　
九〇九五〇　〃　
九〇九五一　〃　
九〇九五二　〃　
九〇九五三　〃　
九〇九五四　〃　
九〇九五五　〃　
九〇九五六　〃　
九〇九五七　〃　
九〇九五八　〃　
九〇九五九　〃　
九〇九六〇　〃　
九〇九六一　〃　
九〇九六二　〃　
九〇九六三　〃　
九〇九六四　〃　
九〇九六五　〃　
九〇九六六　〃　
九〇九六七　〃　
九〇九六八　〃　
九〇九六九　〃　
九〇九七〇　〃　
九〇九七一　〃　
九〇九七二　〃　
九〇九七三　〃　
九〇九七四　〃　
九〇九七五　〃　
九〇九七六　〃　
九〇九七七　〃　
九〇九七八　〃　
九〇九七九　〃　
九〇九八〇　〃　
九〇九八一　〃　
九〇九八二　〃　
九〇九八三　〃　
九〇九八四　〃　
九〇九八五　〃　
九〇九八六　〃　
九〇九八七　〃　
九〇九八八　〃　
九〇九八九　〃　
九〇九九〇　〃　
九〇九九一　〃　
九〇九九二　〃　
九〇九九三　〃　
九〇九九四　〃　
九〇九九五　〃　
九〇九九六　〃　
九〇九九七　〃　
九〇九九八　〃　
九〇九九九　〃　
九〇一〇〇　〃　
九〇一〇一　〃　
九〇一〇二　〃　
九〇一〇三　〃　
九〇一〇四　〃　
九〇一〇五　〃　
九〇一〇六　〃　
九〇一〇七　〃　
九〇一〇八　〃　
九〇一〇九　〃　
九〇一一〇　〃　
九〇一一一　〃　
九〇一一二　〃　
九〇一一三　〃　
九〇一一四　〃　
九〇一一五　〃　
九〇一一六　〃　
九〇一一七　〃　
九〇一一八　〃　
九〇一一九　〃　
九〇一二〇　〃　
九〇一二一　〃　
九〇一二二　〃　
九〇一二三　〃　
九〇一二四　〃　
九〇一二五　〃　
九〇一二六　〃　
九〇一二七　〃　
九〇一二八　〃　
九〇一二九　〃　
九〇一三〇　〃　
九〇一三一　〃　
九〇一三二　〃　
九〇一三三　〃　
九〇一三四　〃　
九〇一三五　〃　
九〇一三六　〃　
九〇一三七　〃　
九〇一三八　〃　
九〇一三九　〃　
九〇一四〇　〃　
九〇一四一　〃　
九〇一四二　〃　
九〇一四三　〃　
九〇一四四　〃　
九〇一四五　〃　
九〇一四六　〃　
九〇一四七　〃　
九〇一四八　〃　
九〇一四九　〃　
九〇一五〇　〃　
九〇一五一　〃　
九〇一五二　〃　
九〇一五三　〃　
九〇一五四　〃　
九〇一五五　〃　
九〇一五六　〃　
九〇一五七　〃　
九〇一五八　〃　
九〇一五九　〃　
九〇一六〇　〃　
九〇一六一　〃　
九〇一六二　〃　
九〇一六三　〃　
九〇一六四　〃　
九〇一六五　〃　
九〇一六六　〃　
九〇一六七

卅四年度予算説明

奥多摩町長　原島謙益

前年度から影響のあった小河内町水道施工による起債は本年度において減少となった。

消防費　従来年々に亘って消防機材の充足を計っていたが本年は特にこれらの購入を計上しないので減額した。

土木費　この費目中本年度最大なものは下り橋架換えに要する二〇〇万円であり他は何れも局所的小改修である。

財源負担区域内水小水路の改修水川無線網の補修を計上したい所存である。

教育費　前年度は多額を投じて吉里小学校の増築工事及び追加予算によって水川小学校の増築工事を行った結果、本年度限学校建設事業を行わないので教育費総額は減少した。

本年度新規事業としては小河内地区に建設する民宿資料館の建設と都立多摩高等学校奥多摩の校庭設事業を計上した。前年度創設した育英奨学金制度に要する費用は前年の倍額を以来満四年目迄小、小河内小、小河内中の施設により小中学校は全部平均した設備となり、教育効果の向上を期待しているものである。

社会及び労働施設費　本年は民生委員の改選期にあたるので民生委員推薦委員費を計上した。

児童福祉費は担方法の改正その他の事情によって減額し新たに敬老授産費を計上した。

保健衛生費　環境衛生に重点を置いて保健施設費を増額した。

議会費　本年度は議員の改選期にあたるので議員退職退職債費を計上した。

役場費　職員の自然増と期末手当の増率及び常用賃金等の増額により職員費が増額し恩給納金及び職員共済組合掛金は減額した。

諸出について

土木費　この費目中本年度最大なものは下り橋架換えに要する二〇〇万円であり他は何れも局所的小改修である。

財源負担区域内水小水路の改修水川無線網の補修を計上したい所存である。

教育費　前年度は多額を投じて吉里小学校の増築工事及び追加予算によって水川小学校の増築工事を行った結果、本年度限学校建設事業を行わないので教育費総額は減少した。

本年度新規事業としては小河内地区に建設する民宿資料館の建設と都立多摩高等学校奥多摩の校庭設事業を計上した。前年度創設した育英奨学金制度に要する費用は前年の倍額を以来満四年目迄小、小河内小、小河内中の施設により小中学校は全部平均した設備となり、教育効果の向上を期待しているものである。

社会及び労働施設費　本年は民生委員の改選期にあたるので民生委員推薦委員費を計上した。

児童福祉費は担方法の改正その他の事情によって減額し新たに敬老授産費を計上した。

保健衛生費　環境衛生に重点を置いて保健施設費を増額した。

選挙費　職員費の増は職員の配換えを始めとしたものである。

統計調査費　本年度特に重要な調査事業はないが予算的には若干増額した。

歳入について　一般歳入中税収入は昭和二十三年度の制度改正の平年化による収見込額を基礎とし、現行地方税の規定に基き算定、交付税については前述の内容により算定した。これ以外の収入は経済状況の推移と相俟って確実に確保する。

財産費　町有林の整備に重点を置いて、特に年度始めの早い苗等行う造林予算に努力致す。

統計調査費　本年度特に重要な調査事業はないが予算的には若干増額した。

選挙費　職員費の増は職員の配換えを始めとしたものである。

本年度は都知事及び議会議員の選挙、町議会議員選挙、町議会議員選挙、廃棄物の発生量増大して現有焼却炉においては消化しかねなくなったので新規建設のための予算を計上した。

火葬場、し尿処理場の建設は予算化できなかったが成案次第附議したい。

産業経済費　農業費の目の中、新らたに農業振興の項を設けて農業失業対策農道工事費のうち本町負担する施設費費を計上した。

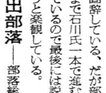
第六期として新農山村建設事業をはじめとして、これは本年度より実施する建設事業として葵新山小学校の増築工事を計上した本年度本町で行われる国民体育大会の登山競技場の観光施設費

各地共出馬決意を渋る

福生町

福生町町会議員の任期満了に伴う候補説候者はきのうまで二十三名、未決定の二十三名、未決定の際、内の方名部落から二名、内由、旅川兵、加奥氏の二名は立候補届出をしたが、二十名の定員に対しても二十名の定員に二十四名に個分に名簿提出をしたが、高齢選挙者は棄権、石川信義、田村祐一、山下久吉、中内虎蔵、米島善一、大久保二郎等が期間にのこっている。

武蔵野部落　現議の西村光人氏が部落推薦で推されていたが、部落内の固辞し続けていたが遂に出馬を決意した。

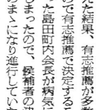


西村　光人　39　現議・期　前厚生委員長等歴任議員の右腕として活動・拝殿殿前の長男

南部落　部落では現副議長の石川常太郎氏を一本で推しているが固辞している。だが部落では あくまで石川氏一本で通したいとなっているので最後には説得出来きようと楽観している。

内出部落　部落総会を開いたが挙げ部落推薦、有志推薦、個人推薦の三種についてアンケートを取って全数の意向を調べ、総会に委ねた結果、有志推薦が多数になったので有志推薦で決定するとなったが、高齢者の決定は、はそのままになり進展していない。

鍋ヶ谷戸一　現議員の高橋彦市氏が部落推薦で再出馬することに決定した。

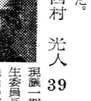


高橋　彦市　49　町議・期　総ヶ戸町会顧問　現厚生委員

鍋ヶ谷戸二　現議員の大久保二郎氏と新人で斎藤博二氏、斎藤博氏の三氏がそれぞれ有志推薦で出馬決定。

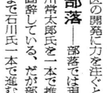
大久保二郎　現議・期　現厚生委員長　前部落会長　現在建設業

牛浜第一　早くから部落推薦で現議の石川信義氏が決定、部落会長清水工業社長として活発な活動をしている。若い人の議会内でも部落でも実力者として信望の厚い人物の適任者である。

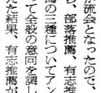


石川　信義　40　現議・期　六下水道建設の年次計画の樹立をモットーとしている

牛浜第二　前回棄権した吉田酒氏と部内内会長で現会総務行委員の協力を求めている。



原ヶ谷戸　町内推せんで現議の山下幸三氏が再出馬を決定した。【写真は吉田清氏上と宝来信次郎氏】



山下　幸三氏　29　現議・期　東京経済大卒　山下交通の責任者前期生水道建設委員、現民生委員長、青梅新第副委員長、上下水道工事の設行に成功させた。

志茂一　当初可回の雲解散して森田雅氏が出馬を決意したが、部落内から鹿防団長の中野弘氏が出馬するなの自分は棄ぎくや部落と所氏に協力を開く——と申し出たので、村野弘氏出馬の話はストンと立消えとなった。【写真は村野弘氏】

志茂二　前銀座通り顔栄会の会長で町内会長だった山下久吉氏が有志推薦で出馬、事務長は木村四郎氏が担当。町内有志としては木村四郎氏が町内部役員がつくり、小河内移転組の支持もあり商店街組織に数えられている。次に栄通りと西区の推薦で商店街春氏が出馬。【写真は村野弘氏】

斎藤　真一　61　新　現厚生委員　前十一ヶ年、上下水道の建設、特に水道は清水代だけでも火代だけでも

熊川牛浜　現議森田喜二氏が棄権の出馬。

斎藤　博　52　新　元石灰組総官府、現熊川　熊川組勤務、前回森田議員の選挙事務長　現議森田喜二

熊川牛浜　現議森田喜二氏が棄権の出馬。

本町一町内　早くから部落推薦で現議の石川信義氏が決定、部落会長清水工業社長として活発な活動をしている。若い人の議会内でも部落でも実力者として信望の厚い人物の適任者である。

石川　信義　40　現議・期　六下水道建設の年次計画の樹立をモットーとしている

本町二町内　現議で建設委員長の西村氏が出馬を決定した。【写真は瀬古清蔵氏】

伊予田三郎氏　建築業　西多摩郡建設事業協同組合理事長

本町四町内　町内推薦で岸茂氏が出馬する。岸氏は二級建築士で、西部建設業協同組合副理事長。

磯村　武夫氏　元議員、民生委員　磯村製材KK社長

本町七町内　高橋三郎、村尾雄吉の大物が部退、選挙明氏、士原禎重氏が事務長となる。

本町八町内　現議中西虎蔵氏が町内推薦で再出馬決定した。（写真は長井明氏）

中西虎蔵氏　46　現議　水道委員長、建設委員厚生委員を歴任　一、六下水道の年次計画の樹立をモットーとしている

本町六町内　町内推薦で再出馬を決定し事務長を祖田医院長さんが引受けるという早手回しであっさりかたがついた。

米泉　薫氏　現議・期　元総務委員長　知恵者で評判がよい。

長沢一　町内推薦で田村祐一氏再出馬する。政治感覚の鋭い士、事務長を議員田村利一氏に持って行くあとの、なかなかの、新興産業プロパンガスの社長、第一小学校PTA会長、最高点を目指して進んでいる。

長沢　二　現議青木与市氏逝去で真剣目さを買われて町内推薦を再出馬、事務長に田村政一氏が当る。

本町一町内　では町内から磯村武夫氏が出馬することとなった。【写真は中下久吉氏上と高橋千春氏平田助勇氏】

加美一　町内会長田村清氏の出馬がこじれて、候補者乱立している田村清氏は今回は絶対に出馬しない、次回は是ぐらい出馬を声明しやる——という。町田富治も出ないという。さてこの候補者を刊場とすることも出来まい、結局村民西部氏に譲る。

長沢二　町内会長田清氏の出馬がこじれて、候補者乱立している田村清氏は今回は絶対に出馬しない、次回は是ぐらい出馬を声明しやる——という。町田富治も出ないという。さてこの候補者を刊場とすることも出来まい、結局村民西部氏に譲る。

羽村町

無投票の公算大

羽村町の町議戦は新人の出馬なく殆んどが現職で今のところ五人神が未定だけで外部落さんと決定して現職二名新人二名の十四名定員十六名だから、五人神から定員に名不足だというところ、五人神から名出るとして、あと二人は川崎の秋山寿一氏が東の石川交蔵氏のいずれか出てやっと定員の十六名ということ。

川崎　田島　泰一　46　町会・期現総務委員長　島田組社長。

川崎　中根　善八　39　新人で中根建設KK社長　新らしい感覚の持ち。

東　小山　儀平　69　町会議員四期　加藤建設委員長

東町　森田　修策　48　森田建設KK社長、現建設委員長　町会議員一期

東町　中野　家一　53　土建業　現厚生委員　町会議員一期

奈賀町　加藤伸一郎　50　町会議員一期　現産業建設委員

奈賀町　並木俊之助　56　町会議員一期　現産業建設委員

奈賀町　田村　喜一　57　町会議員一期　厚生委員、産業建設委員

宮地　旧井　貞三　57　町会議員一期　現厚生委員長

加美一　～町内会推薦で細淵晋一氏が出馬する。事務長は井上順太郎氏が当る。加美一は羽村町議二期目。

永田部落　～牧本社長が出馬する。出馬するはずだった古谷幸さん落選より二名出馬は後援人で部落会長。

加美一　～町内会推薦で現厚生委員長の羽村太郎氏が出馬する。事務長は井上順太郎氏が当る。加美一は羽村町議二期目。

加美原　石田邦太郎　60　町会議員一期　前厚生委員　建設委員

間坂　羽村鉄太郎　56　町会議員一期　現厚生委員

加美原　小作　達郎　48　町会議員一期　前総務委員長　現議員

小作　下田　静雄　46　町会議員一期　前総務委員長

小作　下田　正之　64　町会議員一期　現産業建設委員

訂正　前号の前回得票数中、下田正之、並木俊之助の四氏が落となっているのは当選の誤りとつき訂正します。

瑞穂町

殿ヶ谷部落　当初話題の

瑞穂町の定員は八名のところ立候補者は大体二十五名出馬の予想七名の選挙は無投票多く棄権多数になるものは法廷藤仙三郎吉岡房太郎、根岸哲氏が多くなる。

石畑部落　は中軍物長氏が出馬する。

宮地　旧井　貞三　57　町会議員一期　現厚生委員長

奈賀町　田村　喜一　57　町会議員一期　厚生委員、産業建設委員

昭島市

立候補者甚だ低調

三一名前後を予想

昭島市の市会議員の任期満了に伴う候補者は甚だ低調で前回の三十一名の立候者に比べ、今回は三十一名前後で定員一三六名に対し僅かに五名の超過、有権者総数三、四五六票とその内二割の棄権をみて一八、七六五票、これを三十一名で割ると平均得票数六五二票となる。ちなみに当選紙一括電話で高点当選紙一括電話は、小峰喜重、新藤元義、山田明、青木富雄、河野良機氏等が数えられている。

松原地区　では議員生活実に二十四年という元議長の森田弥八氏と、新人で教育委員の稲葉良氏が地元有志の、議会の推薦、合親子委員長の小原護氏、前回信戸氏、昭和飛行機株式会社労働組合理事長である芳川仁左衛門氏、昭和電工株式会社の斗多模自動車整備事業協同組合理事長である芳川仁左衛門氏、昭和飛行機株式会社労働組合親子委員長の小原護氏、前回信戸氏と民田園議氏の五名。有権者数二、五八二名。（写真は谷部精衛門氏）

堀向地区　新人として森地の中央魚卸売市場仲買人協会理事計理士で、堀向自治連合会の副会長。（写真は稲葉良氏）

昭和前宮沢地区　では現議の昭島市建設業組合長の竹中宗慶氏と同回博収と山田明氏が土木行政多族印になる。新人として

拝島本村地区　現市会議員では拝島農協の常務で市監査員十五年間の経験者で、前回の選挙で惜しくも落選した、新人として

後ヶ谷戸　現議長の高山友治助氏、下が田代慶造氏。

宿部落　現議員の加藤治助氏と、新人として教育委員の田代愛造氏が隣直吉氏の地盤を継承して立候補する。（写真は上が加藤治助氏、下が田代慶造氏）

原山部落　農業委員の山田定七氏と更に加農業委員、新生委員の田田義雄氏が有志推薦でそれぞれ出馬する。（写真は田田定七氏上と原田義雄氏下）

入りハツ　酒酒吟雪の大将清辺一雄氏が地元の総意で出馬決定、外に勤労者組合長の大村武雄氏が組合推薦で立候補する。大村氏は村会一期、前回は惜しくも次点落選しているので今回は組合としては落せない敵いだろう。（写真渡辺一雄氏上大村武雄氏）

神明ヶ谷戸　部落主流として民生委員長の川島孝夫氏と前会議員五期の豚野唐三氏の外に内野

有権者数

宿	六三一
岸	五四一
後ヶ谷戸	三六五
峯	五八〇
殿ヶ谷戸	二〇五
横田	二九一
馬場	六六七
中村	七一一
萩野宗蔵	六四五
原山	五三一
村山療養所	二六三
仮設組合	一八八
計	六、三九九名

村山町

村山町の町会議員立候補者は定員一八名に対して、八名オーバーの見通しで、この内等に間場にならない候補者は四名位あるから三、四名本格的に争って苦杯をなめることになろう。又有力候補として高点を獲得出来るものと予想されているものは、荒田重次氏、これは前回最高点当選者であるため、支持層中に委員のあまりへキ不利倒に陥る心配もあろうが今回は四ヶ年真剣に学校問題に取組んで信頼の動労者側が多くして支持する国も出来たことは強味といえる。次に協間繁三氏、緑部を村田に持つている根本善治氏、前回二位で当選した山崎直吉氏の地盤を継ぐ立候補する田代愛造氏等は高点を獲得出来る有力候補だと一般にみられている。次に協間繁三氏、緑部を村田に持つている根本善治氏、前回二位で当選した山崎直吉氏の地盤を継ぐ立候補する田代愛造氏等は高点を獲得出来る有力候補だと一般にみられている。尚今回の当選圏内得票数は大体二一〇票前後だろうとみてよかろう。

長岡部落　現議の近藤仙太郎氏と自治会長の村山吉次氏、それに前回惜敗した原武雄氏も出馬を決意したようだ。更にこれらは共産党から出馬好一氏も出馬の模様

元狭山地区　では現議員に対し、八名オーバーの見通しで、この内等に間場にならない候補者は四名位あるから三、四名本格的に争って苦杯をなめることになろう。

七町目　鈴木繁雄氏は出馬を断念、落合勇郎氏を擁立したいとの意向であるが、当落合氏は絶対に出馬しないとのことで、さて次の手はないことになるが今のところ未定。

八、九町目　農業の矢ヶ崎浜吉の噂もあるが結局自保氏が出馬するのではないかとみられている。

六町目　小林万平氏という声断念、落合勇郎氏を擁立したいとの意向であるが、当落合氏は絶対に出馬しないとのことで、さて次の手はないことになるが今のところ未定。

部落別有権者数

殿ヶ谷	七六七人
石畑	一、五八四人
箱根	二、二七七
長岡	八四一
元狭山	一、一八一

村山町

吉祥寺　名店会館連日満員

感激に満ちて　滝島社長挨拶

総工費五億円もって日産業株式会社が吉祥寺駅前に建設した名店会館は、去る三月十五日華々しく開店、その後連日二十万人を超ずるお客で各店共満員の盛況にあるという。殊に開店当日は二〇万人を超ず、その売上げは実に二千万円に達したという。

合衆国と国民所得の多い点では全国第一位にあるこれら近代住宅地域の中央にあるこれ等とこの名店会館が建設されたことは、洗練された消費層の好みにぴったりマッチしたものとみられ、豊かな消費力が集中されて盛況だったようである。

去る三月十四日名店会館開店披露会の席上数百名の招待者を前にして大日産業株式会社の長瀬勝総一郎氏は次の如く感激の挨拶をした。

皆様、私は只今感激の相にあります。此の感激の相にあります。此の感激の原因は三つの理由が御座居ます。

私は只今、此の席から合三つの時を宣言するものであります。細やかなる建物では御座居ますが、此の建物を建てる当つても苦なられました多数名様各位の支援の御支援を以つて私の第一の誇と致します。

第二の誇は風（ハ）昨年以来政界の一角に此のビルを計画し幾多の波乱曲折を経て昨年六月此の地に起工式を挙げました。以来八ヶ月にして細やかながらも近代建築に出来上り、本日此の日開店の席に立ちました。この間一人の怪我人もなく、十事に進んだという事は私の第二の誇とするものであります。

第三の誇はかくて出来たった此のビルの屋上に延来私の信仰と居りますが観音様祝中、崎玉県下にある鳥居観音は私も真に役員の未だ名刺として居ります。此の原主である三浦氏は沼袋駅前の特に私の為に無理為の、今日ここに観音様を御迎えさせました。

私は是観鳥居観音院を設け、此の誇りとするものであります。

吉祥寺駅前　現議森田喜二氏が棄権の出馬。

熊川牛浜　現議森田喜二氏が棄権の出馬。

志茂一　当初可回の雲解散して森田雅氏が出馬を決意したが、部落内から鹿防団長の中野弘氏が出馬するなの自分は棄ぎくや部落と所氏に協力を開く——と申し出たので、村野弘氏出馬の話はストンと立消えとなった。【写真は村野弘氏】

志茂二　前銀座通り顔栄会の会長で町内会長だった山下久吉氏が有志推薦で出馬、事務長は木村四郎氏が担当。町内有志としては木村四郎氏が町内部役員がつくり、小河内移転組の支持もあり商店街組織に数えられている。次に栄通りと西区の推薦で商店街春氏が出馬。【写真は村野弘氏】

本町七町内　高橋三郎、村尾雄吉の大物が部退、選挙明氏、士原禎重氏が事務長となる。

本町八町内　現議中西虎蔵氏が町内推薦で再出馬決定した。（写真は長井明氏）

中西虎蔵氏　46　現議　水道委員長、建設委員厚生委員を歴任　一、六下水道の年次計画の樹立をモットーとしている

本町六町内　町内推薦で再出馬を決定し事務長を祖田医院長さんが引受けるという早手回しであっさりかたがついた。

米泉　薫氏　現議・期　元総務委員長　知恵者で評判がよい。

長沢一　町内推薦で田村祐一氏再出馬する。政治感覚の鋭い士、事務長を議員田村利一氏に持って行くあとの、なかなかの、新興産業プロパンガスの社長、第一小学校PTA会長、最高点を目指して進んでいる。

長沢　二　現議青木与市氏逝去で真剣目さを買われて町内推薦を再出馬、事務長に田村政一氏が当る。

本町一町内　では町内から磯村武夫氏が出馬することとなった。【写真は中下久吉氏平田助勇氏】

本町二町内　現議で建設委員長の西村氏が出馬を決意したが、町内推薦で瀬古清蔵氏が出馬を決定した。【写真は瀬古清蔵氏】

本町四町内　町内推薦で岸茂氏が出馬する。岸氏は二級建築士で、西部建設業協同組合副理事長。

伊予田三郎氏　建築業　西多摩郡建設事業協同組合理事長。

磯村　武夫氏　元議員、民生委員　磯村製材KK社長

元狭山地区　では現議員に対し、八名オーバーの見通しで、この内等に間場にならない候補者は四名位あるから三、四名本格的に争って苦杯をなめることになろう。

鍋ヶ谷戸一　現議員の高橋彦市氏が部落推薦で再出馬することに決定した。【写真は高橋千春氏】

鍋ヶ谷戸二　現議員の大久保二郎氏と新人で斎藤博二氏、斎藤博氏の三氏がそれぞれ有志推薦で出馬決定。

内出部落　部落総会を開いたが挙げ部落推薦、有志推薦、個人推薦の三種についてアンケートを取って全数の意向を調べ、総会に委ねた結果、有志推薦が多数になったので有志推薦で決定するとなったが、高齢者の決定は、はそのままになり進展していない。

南部落　部落では現副議長の石川常太郎氏を一本で推しているが固辞している。だが部落ではあくまで石川氏一本で通したいとなっているので最後には説得出来きようと楽観している。

武蔵野部落　現議の西村光人氏が部落推薦で推されていたが、部落内の固辞し続けていたが遂に出馬を決意した。

西村　光人　39　現議・期　前厚生委員長等歴任議員の右腕として活動・拝殿殿前の長男

牛浜第二　前回棄権した吉田酒氏と部内内会長で現会総務行委員の協力を求めている。

原ヶ谷戸　町内推せんで現議の山下幸三氏が再出馬を決定した。【写真は吉田清氏上と宝来信次郎氏】

志茂一　当初可回の雲解散して森田雅氏が出馬を決意したが、部落内から鹿防団長の中野弘氏が出馬するなの自分は棄ぎくや部落と所氏に協力を開く——と申し出たので、村野弘氏出馬の話はストンと立消えとなった。【写真は村野弘氏】

志茂二　前銀座通り顔栄会の会長で町内会長だった山下久吉氏が有志推薦で出馬、事務長は木村四郎氏が担当。町内有志としては木村四郎氏が町内部役員がつくり、小河内移転組の支持もあり商店街組織に数えられている。次に栄通りと西区の推薦で商店街春氏が出馬。【写真は村野弘氏】

熊川牛浜　現議森田喜二氏が棄権の出馬。

斎藤　真一　61　新　現厚生委員　前十一ヶ年、上下水道の建設、特に水道は清水代だけでも火代だけでも

斎藤　博　52　新　元石灰組総官府、現熊川　熊川組勤務、前回森田議員の選挙事務長　現議森田喜二

鍋ヶ谷戸一　現議員の高橋彦市氏が部落推薦で再出馬することに決定した。

高橋　彦市　49　町議・期　総ヶ戸町会顧問　現厚生委員

鍋ヶ谷戸二　現議員の大久保二郎氏と新人で斎藤博二氏、斎藤博氏の三氏がそれぞれ有志推薦で出馬決定。

大久保二郎　現議・期　現厚生委員長　前部落会長　現在建設業

牛浜第一　早くから部落推薦で現議の石川信義氏が決定、部落会長清水工業社長として活発な活動をしている。若い人の議会内でも部落でも実力者として信望の厚い人物の適任者である。

石川　信義　40　現議・期　六下水道建設の年次計画の樹立をモットーとしている

本町二町内　現議で建設委員長の西村氏が出馬を決意したが、町内推薦で瀬古清蔵氏が出馬を決定した。【写真は瀬古清蔵氏】

伊予田三郎氏　建築業　西多摩郡建設事業協同組合理事長。

本町四町内　町内推薦で岸茂氏が出馬する。岸氏は二級建築士で、西部建設業協同組合副理事長。

磯村　武夫氏　元議員、民生委員　磯村製材KK社長

本町七町内　高橋三郎、村尾雄吉の大物が部退、選挙明氏、士原禎重氏が事務長となる。

本町八町内　現議中西虎蔵氏が町内推薦で再出馬決定した。（写真は長井明氏）

中西虎蔵氏　46　現議　水道委員長、建設委員厚生委員を歴任　一、六下水道の年次計画の樹立をモットーとしている

本町六町内　町内推薦で再出馬を決定し事務長を祖田医院長さんが引受けるという早手回しであっさりかたがついた。

米泉　薫氏　現議・期　元総務委員長　知恵者で評判がよい。

長沢一　町内推薦で田村祐一氏再出馬する。政治感覚の鋭い士、事務長を議員田村利一氏に持って行くあとの、なかなかの、新興産業プロパンガスの社長、第一小学校PTA会長、最高点を目指して進んでいる。

長沢　二　現議青木与市氏逝去で真剣目さを買われて町内推薦を再出馬、事務長に田村政一氏が当る。

本町一町内　では町内から磯村武夫氏が出馬することとなった。【写真は中下久吉氏平田助勇氏】

本町二町内　現議で建設委員長の西村氏が出馬を決意したが、町内推薦で瀬古清蔵氏が出馬を決定した。【写真は瀬古清蔵氏】

本町四町内　町内推薦で岸茂氏が出馬する。岸氏は二級建築士で、西部建設業協同組合副理事長。

伊予田三郎氏　建築業　西多摩郡建設事業協同組合理事長。

磯村　武夫氏　元議員、民生委員　磯村製材KK社長

元狭山地区　では現議員に対し、八名オーバーの見通しで、この内等に間場にならない候補者は四名位あるから三、四名本格的に争って苦杯をなめることになろう。

鍋ヶ谷戸一　現議員の高橋彦市氏が部落推薦で再出馬することに決定した。

鍋ヶ谷戸二　現議員の大久保二郎氏と新人で斎藤博二氏、斎藤博氏の三氏がそれぞれ有志推薦で出馬決定。

内出部落　部落総会を開いたが挙げ部落推薦、有志推薦、個人推薦の三種についてアンケートを取って全数の意向を調べ、総会に委ねた結果、有志推薦が多数になったので有志推薦で決定するとなったが、高齢者の決定は、はそのままになり進展していない。

南部落　部落では現副議長の石川常太郎氏を一本で推しているが固辞している。だが部落ではあくまで石川氏一本で通したいとなっているので最後には説得出来きようと楽観している。

武蔵野部落　現議の西村光人氏が部落推薦で推されていたが、部落内の固辞し続けていたが遂に出馬を決意した。

西村　光人　39　現議・期　前厚生委員長等歴任議員の右腕として活動・拝殿殿前の長男

牛浜第二　前回棄権した吉田酒氏と部内内会長で現会総務行委員の協力を求めている。

原ヶ谷戸　町内推せんで現議の山下幸三氏が再出馬を決定した。【写真は吉田清氏上と宝来信次郎氏】

志茂一　当初可回の雲解散して森田雅氏が出馬を決意したが、部落内から鹿防団長の中野弘氏が出馬するなの自分は棄ぎくや部落と所氏に協力を開く——と申し出たので、村野弘氏出馬の話はストンと立消えとなった。【写真は村野弘氏】

志茂二　前銀座通り顔栄会の会長で町内会長だった山下久吉氏が有志推薦で出馬、事務長は木村四郎氏が担当。町内有志としては木村四郎氏が町内部役員がつくり、小河内移転組の支持もあり商店街組織に数えられている。次に栄通りと西区の推薦で商店街春氏が出馬。【写真は村野弘氏】

熊川牛浜　現議森田喜二氏が棄権の出馬。

斎藤　真一　61　新　現厚生委員　前十一ヶ年、上下水道の建設、特に水道は清水代だけでも火代だけでも

斎藤　博　52　新　元石灰組総官府、現熊川　熊川組勤務、前回森田議員の選挙事務長　現議森田喜二

鍋ヶ谷戸一　現議員の高橋彦市氏が部落推薦で再出馬することに決定した。

高橋　彦市　49　町議・期　総ヶ戸町会顧問　現厚生委員

鍋ヶ谷戸二　現議員の大久保二郎氏と新人で斎藤博二氏、斎藤博氏の三氏がそれぞれ有志推薦で出馬決定。

大久保二郎　現議・期　現厚生委員長　前部落会長　現在建設業

牛浜第一　早くから部落推薦で現議の石川信義氏が決定、部落会長清水工業社長として活発な活動をしている。若い人の議会内でも部落でも実力者として信望の厚い人物の適任者である。

石川　信義　40　現議・期　六下水道建設の年次計画の樹立をモットーとしている

本町二町内　現議で建設委員長の西村氏が出馬を決意したが

新年度事業について

福生町長　秋山誠一

福生町の昭和三十四年度予算は左記の通議決され各種の事業を実施する運びとなっています。

一般会計
八七、六四五、一〇〇円
上水道会計
一一、二一六、一〇〇円
国民健康保険会計
一〇、五三四、〇〇〇円
公益質屋会計
一一、〇二六、〇〇〇円
町営と場会計
六、〇〇一、七〇〇円
合計　一二六、四二二、九〇〇円

主要な事業について申述れす四月から第四小学校が独立致します。校舎は既に完成しているので本年度は校地や施設の整備を必要と致します。第三小学校は目下増築中でありますが中学校については補助金を得て体育館を建設すべく予算を計上しています。社会教育については将来公民館活動の中心として利用出来る郡の自治会館建設に努力を傾注したい。

土木関係では懸案の駅前広場を地元関係者の御協力を得て本年度に完成したい又都市計画街路の拡巾を行い車道舗道の完成道路を実現したい町道の改修については失対事業及請負工事で懸案のものを全部完成したい又根本的な問題として排水計画を樹て将来に備えたい考えであります。

衛生問題については蚊と蝿をなくす運動を衛生協力会を通じて行うと同時に塵介処理を能率的に行う計画実行し更に他の町村と共同して適地に完全な汚水処理場を設けるよう努力する考えであります。

上水道については現在さく井を行い水源が確保していますが起債を得て更に拡張施設を行い利用範囲を拡大する予定であります。

以上は新年度事業として主なるものでありますが之が実施については町民各位の絶大なる御協力をお願いする次第であります。

総務委員長　大久保一郎

去る三月十日第一回定例町議会に於て町長より提案された昭和三十四年度予算案の中で総務委員会に付託された審議事項は一般会計歳入全般及び歳出においては議会費役場費、消防費、教育費、財産費選挙費、公積費、諸支出金予備費及び予算執行に必要なる議案四件と昭和三十三年度一般会計歳入歳出第四回追加更正予算案等でありました。付託事項に関し去る三月二十日総務委員会を開催し、長時間慎重に審議を行った結果原案通り承認致した次第でありその概要について御報告申し上げます。

私共総務委員会としては地方自治体の行政運営は健全なる町財政と住民福祉の増進である事を念頭において町発展に対する基本的問題並に委員会担任事項については常日頃より理業者に対しては強力に要請も行い、又協力も致し微力ではあったが健全なる町発展のため努力致して参ったものであります。今回昭和三十四年度予算編成を前にして高等学校誘致促進問題消防施設教育設備に対する住民の負担軽減を強く主張して参ったものであり各議員の協力と理事者の理解によりこうした点が当初予算に織込まれた事は住みよい町発展のため大きな前進ともいえよう。

一般会計歳入予算

昭和三十四年度一般会計才入才出予算総額は八七六四五一〇〇円であり前年度当初予算に比較して一三九〇六三六〇円の増額となっております。増額になった主なる点は前年当初予算に計上しなかった国有提供施設所在市町村助成交付金(基地交付金)を本年度は六〇〇万円計上した事と町税に於て四、〇〇四、九〇〇円の増収(町民税たばこ消費税電気ガス税等)其他都支出金等であります。福生町は発展途上にあり大下水道の完備道路の補装地小中学校の増築教育設備の完備等参積しており尚本年度大きな事業として郡の自治会館の建設中学校体育館の建設高等学校の誘致に対する事業等は解決しなければならない重要課題でありますが町民にしてみれば良い教育施設を道路補装他を下水道の完備と考へるのは誰もが同じであります。しかし乍ら限られた財源であれば限られた事業しか出来ずなんといっても財源の増収であり基地交付金の増額補助金の増額等については理事者と力を合せて獲得のため努力すべきであると思います。

議会費

本年度予算は四、四二六、一二〇円であり予算総額に対する比率は五・〇五%であります。前年に比較して九一四、六〇〇円の増額であり、その内容は議会用備品購入並に職員の給料手当交際費と去る三月十日の議会において報酬適正化に対する全国町村議長会の決議事項を慎重に考慮し民主政治の根幹をなす議会は住民の福祉のためその職責の重大さを自覚し、もって議会の機能を遺憾なく発揮するため最少限の報酬の増を認めた事等が増額となっております。

役場費

本年度予算は二、七二六、四八〇円であり予算総額に対する比率は二四、七九%であり前年度に比較して二、九二二、一五〇円の増額となってをります。当町は発展途上にあり年々増加する人口に伴い町税も増収となって参るが人口増に伴う通常経費職員の増員、給料手当需要費、交際費、庁舎修理費等が主なる増額の理由であります。

消防費

本年度予算は二、三九六、〇五〇円であり予算総額に対する比率は五・〇五%であります。前年度に比較して二、九二二、一五〇円の増額となって をります。当町は発展途上にあり年々増加する人口に伴い町税も増収となって参るが人口増に伴う通常経費職員の増員、給料手当需要費、交際費、庁舎修理費等が主なる増額の理由であります。

教育費

本年度予算は一七、〇五〇、四六〇円であり予算総額に対する比率は一八・五七%であり前年度に比較して二、二五四、八五五円の減額となっております教育の重要性を考慮し教育施設内容の充実を推行している当町が予算減はおかしいと思いますが前年度は第一小学校分校舎増築費五、一二七、〇〇〇円を当初予算に計上した事と公民館建設費二、五六五、〇〇〇円を当初予算に計上した関係であり実際には通常経費等があります。併し乍ら今後の町発展を考へ施設設備の充実を計り常設消防へ切換の体制を進めるべきであると思います。

厚生委員会　審議報告

厚生委員長　渡井明

新年度予算審議本会議において厚生委員会には付託された関係予算案については去る三月十六日委員会を開き慎重審議した結果、予算案についてはそれぞれ適当なものとして原案を認めました。

この委員会においては特に離職対策問題を重要視し、離職対策として新年度では僅かではあるが金二万円を支出することにし、更に職業補導所の設置が要望されたので地方事務所長の意見を聴取したところ、町で敷地の確保をすれば何んとか方法もあろうとの明るい見透しもあるのでこの問題については更に検討を続けその実現について話し合いをすること に決定した。

次に塵介処理施設については、早急に町営で完全処理が出来るよう理事者を督励した。

社会及労働施設費　一三四、四七〇円　このうち主なものは児童福祉費一、六〇五、〇〇〇円で約三分の二を占め、これは東福保育園の園児委託費として費われる次に最近強く叫ばれている青少年の不良化防止であるが現在西郡の各町村の共合審議機関として青少年問題協議会が組織されているが、これは各町村の支出する補助金が非常に少ないため審議機関の域を脱せず団体としての活動が出来ないことは甚だ遺憾なことで、今後各町村より支出する補助金の増額を出来るだけ多くするよう啓蒙する必要がある。

保健衛生費二、二一四、七八〇円　従来当町では伝染病に対する薬価及入院費について、入院費は町負担で薬価は患者の負担だったが、本年度より入院費は町負担、薬価は患者の世帯のその月の所得税に応じて負担することになったので相当患者の負担が軽くなることになった。

公益質屋

は特別会計として経理され予算額は一一、〇二六、〇〇〇円であるがその運資金(貸付金)三百三十万円が用意されている、利息は月三分で期限は四ヶ月であるので、町民に利用されている。

国民健康保険

これも特別会計として一般会計より切り離して経理され予算額は一〇、五三四、〇〇〇円である。

国民健康保険については政府に於いても国民全員がいづれかの保険に加入しなければならないことに法律を改正したので未加入の者は早く加入し、安心して働いてもらうよう町でも希望している。

水道関係―当町の水道は二十七年十二月 簡易水道として 発足したが、当初の給水人口は四、八〇〇人を対照として施設されたが、其の後急速な発展により人口が増加したので水道の利用者も増し又衛生の面からも従来の浅井戸を水道に切替えるものが多くなった為二十九年上水道の認可を得て給水人口を六、七〇〇人として第一期拡張工事に着手したが更に二〇、〇〇〇人を目標に三十三年上水道五ヵ年計画を樹立第二期拡張の認可を得た。

五ヶ年計画の内容は総工費一億二千八百万円で三十三年度から着手され三十七年度附近に深井戸二本と第二浄水場を設置して熊川方面に給水されることになる。

本年度の当初予算並事業計画でありますが経常費では才入才出ともに前年度と大差なく若干の自然増であります。工事関係におきまして前述の通り第二期拡張工事の関係がございますので二一六万円余増となっておりますがこれは工事費の一部にすぎず起債の許可があり次第前記計画に基いて工事を進めて行くことになっております。

以上審議内容と事業概要を併せて申述べまして町民の皆様に御報告致します。

建設委員長　瀬古清蔵

昭和三十四年度の建設事業に関する予算面から見た土木事業の大要を町の皆様に御報告申し上げ御参考に供したい。

申上げるまでもなく我が福生町は日進月歩の勢いを以て発展しつゝありますが、何んといっても未だ未だ非常に道路が悪く又下水工事も各方面から強く要望されて居ります。我々も又、皆さんの御要望に対して極めて、慎重に注意をはらい一日も早くその要望に答へるよう努力して居る次第です。何卒町当局並に我々議員の意の有る処を御諒承願い度いと存じます。

それでは三十四年度の予算から本年施行せられる工事を申し上げます、先ず総額土木予算は一千六百二十七万八千四百五十円であります。この内訳けを申し上げますと

道路維持修繕費　九十万円
道路新営改築費　七百三十六万三千円
橋梁維持修繕費　五万九千円
都市計画費　七百二十四万九千円
失業対策費　六十万八千五百円
公園費　十万七千円

新規事業

補助道七号線延長工事　四十八万円
牛浜中学校通り補装工事　百二十五万円
本町七町内より基地正門迄　百八十一万八千円

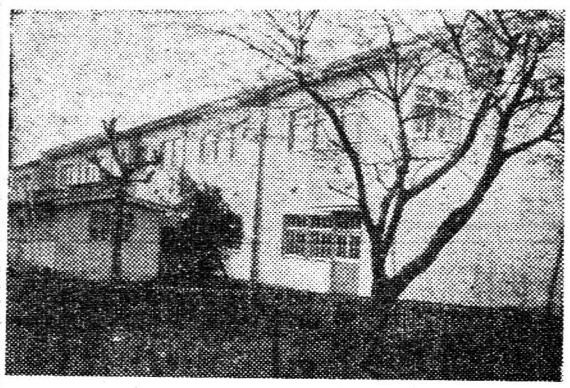
全般的の要点

補助道第一号線の補装工事(注・都の補助決定次第)
熊川南の新道(注・旧砂利線の一部)
中学校正門より福生橋へ通ずる新道
熊川旧都道の改修工事
本町南新道瀬沼商店前の下水工事及び道路改修
銀座通りの延長工事
富士見通り坂下より補助道六号線に至る新道
中福生通りより永田に至る延長工事
鉄道ふみ切りの処置
熊川内出下の下水工事

以上が大体本年度予定される事業であります。この他補助道六号線及び八号線の補装工事並に下水工事の完成を切望しておりますが、目下建設省及び調達省へこれが補助申請中にて要望が通れば大きな成果であると思う。

注・都市計画事業予算七二四九、〇〇〇円は福生駅前広場の完成、福生病院前より羽村町に通ずる新道、都市計画道路拡張工事、その他であります。

昭島市　昭和中完成　西川建設KK施工



昭島市では昭和中学の新校舎建設を急いでいたがこの程完成、去る三月二十七日盛大な落成式を挙行した。着工したのは昨年の十一月二十八日で西川建設株式会社(昭島市中神町、社長西川勝太郎)が一千二百九十七万円で請負、去る三月二十六日完成した。校舎は木造厚型スレート瓦葺、モルタル塗二階建一棟、四二六、三四坪、附属建物を含め三九三、〇二坪教室は普通教室十四で新学期より三年生が使用するとの事である。

(写真は昭和中新校舎)

圧倒的人気の
光風のU字型新車
今回発表の新車の内、特に光風プリンス、光風プリンセス、ロードクラウンの三車種に就ては、斬新な構造と自転車史上革命的な製造方法を採用致しましたので、優美な形状、安定した操縦性、充分な強度と耐久力を持つ車とする為めに、工場の持つ優秀な熔接、加工、塗装等の技術と品質管理を充分に発揮出来る様に、慎重に基礎設計を致し、強度計算は勿論各部の部分的強度試験、完成車の実走試験、強度試験機による各種の強度試験等、凡ゆる試験研究を致しまして、自信満々の車を完成したのであります。
この新車は都下光風自転車販売店(黄色い旗)にありますから是非御愛用をお願い致します。
二ヵ年連続通産大臣賞受領
光風自転車三多摩支部
明るい生活を乗せる日本一光風の自転車
山本輪店
福生町銀座通り　電話五二五番

親切第一
御婚礼家具・子供乗物一式
松村家具店
拝島駅前通り(電161)
駅より徒歩5分

日本工業規格表示工場
内田の瓦
工場　秋多町二宮
電話福生310

お花見のお帰りに
御料理　かなめ家
福生町　電話606

格安　中古自動車
トヨタ五六年・ガソリン車
五七・五四・五三
ニッサン五四年型
有限会社　ラッキー自動車整備工場
福生町加美青梅街道筋電話三六五・四一三番

御商談に
どうぞ御利用下さい
中華御料理
御座敷は御会談に
千登世
福生町役場前　電話三五一番

パンと和洋菓子
巴製パン所
青梅線福生駅東口前　電話福生一五七番

土木建築請負業
殖産住宅　指定工事店
竹達建設
電話　福生七七番

登録
銘菓　福生最中
福生最中本舗　紅雀
福生町牛浜駅際　電話八七〇甲

嘉泉
味噌・醤油・酒類・調味料品
野口屋酒店
福生銀座通り　電話二〇六番

澤乃井
高水酒店
瑞穂町石畑　電話四一番